

マイナーメタル2006報告

～2006 国際小金属・希土国際会議～



8月6日から8日の三日間、北京 DINASTY ホテルに於いて内外から170名以上が集まりレアメタル、レアアースについての国際会議が開催された。中国有色金属研究総院の屠海令院長が会長となり有意義な市場報告と技術交流が行われた。中国において Minor Metal 会議が開催されるのは初めてで今回は特に希土類関連の質疑応答が活発に行われ中国国内の主要なレアアース関係者が集まった。

AMJの中村社長も日本を代表して「[日本の希土類市場の動向と今後](#)」（クリックでPDFファイルが開きます）のテーマで発表した。レアアース以外についてもインジウム、ゲルマニウム、ガリウムなどの電子材料レアメタルについても発表があり市況が高騰する中で参加者は真剣な面持ちで報告に聞き入った。



中国からの報告で目立ったものは資源と環境問題についての危機感が強く国家方針として資源問題を重要視するべきだとの報告に注目が集まった。



英国のトレーダーとコンゴの鉱山企業



カザフの投資家



RUSAL 社の代表